

## 秋篠宮同妃両殿下

# 上智大学アソコールワット 西参道工事現場を視察

秋篠宮文仁親王殿下・同妃紀子殿下は六月二十一日から七日間にわたり、カンボジアを公式訪問された。皇族としては初めての公式訪問であった。ご夫妻は二十二日にプノンペン市内の王宮を訪問され、シハヌーク国王夫妻と会談された。カンボジア王国をあげての多くの歓迎行事が組みられ、銀寺をはじめ十箇所以上に訪問された。二十四日にプノンペンからアンコール遺跡のあるシェムリアップに到着され、

翌二十五日午後四時十五分アンコール・ワット西参道入り口にご到着となり、本学外国語学部石澤良昭教授の案内でちょうどスコールの最中であったが修復作業現場を見学された。その後ワットの中回廊では古典舞踊のアップサラダンスを鑑賞され、日本人墨書跡、浮彫

りの彫られた約百八十メートル長い回廊をつぶさに見学された。同教授は同日午前中に、発見された当時のまま残されているタ・プローム遺跡をご案内した。さらに両殿下は二十七日午前中にアンコール・ワットから三十五キロメートル離れたアンコール遺跡の寶石と言われる十世紀後半建立のバンテアイ・スレイ遺跡を見学され、砂岩に刻まれた美しい彫刻や精緻な文様を堪能された。かつて盗掘にあった東洋のモナリザと言われる女神立像の前では足を止められ、その像容の美しさを鑑賞された。カンボジア訪問に先立って同教授は六月五日に宮様邸に伺い、二時間のご進講を行った。



秋篠宮同妃両殿下はバンテアイ・スレイ遺跡で美しい彫刻を見学された

なりました。